

社会科 学習の手引き

学習全体について

- 学校：「知る」「理解する」「わかる」「意見を交える」「表現する」場
- 家庭：「練習・訓練(トレーニング)する」「覚える」「身につける」「確実にする」場
- ※新聞や広告、ニュース番組・ドキュメンタリー番組(世界・歴史・政治・経済)・クイズ番組等を読んだり見たりして、世の中のできごとや様子を知らう。
＝実際の映像等を見ることで、授業内容がイメージしやすくなり、理解しやすくなる。
＋「見たことがある」ものに対しては、学習したときになじみがあって理解しやすい。
- ※居間・リビングなどのテレビのある部屋に地図を貼ろう。(お風呂もいいですよ)
＝テレビで出てくる場所をその場で確認して、世の中についての知識を広める。

授業での学習について

- 自分なりの考えをもち、積極的に発表する。
- 話をする人に目を向け、説明や意見をしっかり聞く。
- 次の活動(教科書などの資料を見る、ノートを書く等)が指示されたらすぐに取りかかり、授業の流れに乗り遅れない。(流れについていけないと理解できなくなる)
- ◆ノートについて
 - ノートはきれいな字で手早く書く。色は使いすぎず、3色程度にする。
 - 説明の中で大切だと思ったことは、板書されていなくてもメモをとる。
 - ノートは、板書をもとに、教科書や資料集を参考にして追加の説明を書いたりしてまとめるとわかりやすい。ただし、授業中は説明を聞いたり考えたりすることに集中し、ノートをまとめ直すことは家庭で行う。

家庭での学習について

- ◆復習の方法
 - ①教科書とノートを開いて、両方を読み合わせながら授業の内容を思い出す。
 - ②大切な語句や覚えなければならないことは、何度でもつぶやいたり書いたりする。
 - ③学習内容が一区切り進んだら、自分の理解度をワークノートで確認する。
- ◆問題集(ワーク等)の使い方
 - ①自力で解いて黒字(シャープペン)で書く。
※「基本的な内容」と「活用問題」が分かれている場合、「活用問題」を解くときは、「基本的な内容」の部分の隠して解くこと。
 - ②教科書・ノートを読んで青ペンで調べる。
 - ③解答を見て赤ペンで丸つけをし、解説を読む。(正しい漢字で訂正もする)
※同時に教科書やノートを開き、間違えた学習内容とその周辺を確認して理解する。
- ×問題集(ワーク等)を使った悪い学習の例
 - ×問題集を解きながら、わからなくなったらすぐ教科書などで調べる。
＝自分の頭で考えずに安易に答えを探してしまうクセがつく。
→○1ページや1単元など、ガマンして解いてから丸つけ・訂正＝苦労した後にわかった正解は身につけやすい。
 - ×教科書やノートで理解したり覚えたりしていないのに、いきなり問題集を解く。
→○復習して、ある程度身につけてから、確認のために問題集を解く。
 - ×教科書やノートを見て理解したり覚えたりした直後に問題集を解く。
＝短期記憶で解くので、人間コピー機になってしまう。
→○時間を空けてから解く。(他教科を学習してから、または後日解く)